

## 2012年産リンゴプレザーブ市況

### 中国リンゴプレザーブ

収穫状況については正式な統計がないため予想となりますが、品質は概ね良好で小粒傾向との事から、今年は豊作型と推測されています。

原料価格については、昨年、一昨年とブローカーによる異常な買占めや、便乗した農家の売り惜しみによる原料価格高騰がありました。上手に販売しきれず在庫を抱える業者が多く、その結果、端境期を前にして冷蔵保管料が高み、新物収穫前に安値で大量に放出したとも言われており、今期はそのような投機的な買占めがなく、原料価格は安値に転じました。

加工用原料リンゴは、約2.5元/kg(約¥38)程度と昨年の3元/kg(約¥45)に比べ約1~2割下がっている状況です。また、砂糖においても、昨年より安い状況で原料コストとしては下がっていますが、一方で保険や福利厚生も含めた人件費が、2割弱上がっている事と特に光熱費が約2~3割上昇しているとの事で、現地価格としては、値上げを抑えるのが精一杯の状況となっています。

### 国産リンゴプレザーブ

2011年産のりんご収穫量は減産に見舞われ、原料の大幅高騰により加工業者の収支は悪く生産調整を行った業者もあるようですが、2012年産は概ね順調に収穫されており、生産も順調に進んでいます。

11月の山形県のリンゴ農家写真

